

Society 5.0の実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築

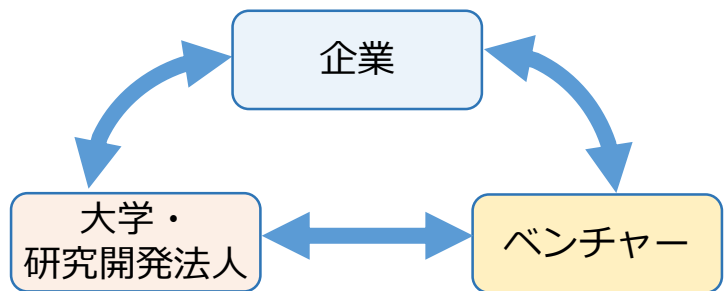
2018年2月20日
一般社団法人 日本経済団体連合会

I. はじめに

- IoT、ビッグデータ、AI等の技術発展 → 多くの産業に「パラダイムシフト」、革命的変革
- データ・AI活用でわが国の多くの企業は足踏み状態 → 国際競争で「周回遅れ」
- サイバー空間の遅れを取り戻しつつ、わが国の強みと組み合わせ
→ 周回遅れを挽回し世界のトップランナーへ返り咲く切り札としてSociety 5.0を推進

II. 多様な主体によるイノベーション・エコシステムの構築

- パラダイムシフトへの柔軟な対応にはダイバーシティの確保が不可欠。
- 社会全体の最適化を目指すSociety 5.0実現には、多様な人々の関与が必須。
↓
- 社会のあらゆる主体によるオープンイノベーションのエコシステム構築が必要
- 研究・開発・実証 → 市場展開 → 社会還元
→ 収益で新たな研究・開発のサイクル確立



III. Society 5.0実現に向けた企業の取組み

1. 意識改革

- 新たな成長には新たな挑戦が不可欠
- 非連続なイノベーションに挑戦、失敗を許容する風土を醸成

2. 組織改革

- ダイバーシティを確保、スペシャリストにジェネラリストの経験
- 人材交流を推進、リカレント教育活用

IV. 大学・国立研究開発法人への期待

- 様々な取組みにより、成果を上げ始めた大学や国立研究開発法人も出現
- 大きな流れとするには多くの課題

1. 大学改革

- 産学官連携：ガイドライン普及、本部機能強化
- 国立大学：重点支援枠拡充、教授年俸制
交付金を産学官連携に応じ配分

2. 研究開発法人改革

- 縦割打破：Society 5.0を軸に役割を整理
- 資金配分：企業との連携に応じ配分
- 先端設備：企業の望む分野で柔軟に対応

V. 政府への期待

1. 政府研究開発投資の充実

- 対GDP比1%確保
- SIP・PRISM、ImPACT推進
- 魅力的なテーマ設定

2. 関連政策の整備

- 規制・制度改革の推進
- ベンチャー政策の充実
- 知的財産政策の深化

3. 統合的な司令塔の確立

- 統合的なイノベーション戦略
- 事務局機能の強化
- 国民理解の醸成